

市政に対する

一般質問

9名の議員が質問

12月定例会の一般質問は、12月16日・17日の2日間にわたり行われました。

質問の要旨は次のとおりです。

山田 裕一

少子化対策について 他

沼倉 啓介

本市における公会計の整備の必要性について

制野 敬一

今後の行財政について

四竈 英夫

政権交代による市政への影響について 他

水落 孝子

障がい者福祉について

吉田 貞子

各種料金値上げはどうしてか

管野 恭子

多胎妊婦健診の助成回数拡大について 他

安斎 多実男

白石市の観光施策

沼倉 昭仁

「地域医療再生計画」について 他

少子化対策について

山田 裕一

〔質問〕内閣府による「少子化社会対策に関する子育て女性の意識調査」では、約7割が保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当などの経済的支援を要望していることが分かった。

市長は、本年度施政方針「4万人都市復活大作戦」の中で、子どもを生み育てやすい環境

をつくり、「しあわせあふれるやさしいまちしろいし」を目指すことと、定住促進を推進する「いきいきとのびゆくまち」を提唱された。

来年度予算編成の時期にあたり、どのような実績と検証をされたのか伺う。

【その他質問】○幼児教育環境の充実について

記事の表記について

議会広報特別委員会では、障害者について、法律名、事業名などを除き、【障がい者】と表記しております。

〔答弁〕4万人都市復活大作戦の戦略別事業については、11月に全部課長出席による中間検証会議を開催して、上半期の事業実績を踏まえ、今後の事業の対応や改善等を確認しながら新年度予算に反映すべく検討を加えたところである。

特定不妊治療費助成事業については平成21年度開始の新規事業であり、これまでに1件10万円の交付実績があった。本事業は、特定不妊治療費が高額となることから、治療

者の経済的負担を軽減して出産支援を行うことに大きな効果があるとの判断から、今後もし引き続き制度の周知に努めながら事業を実施することとしている。

また、乳幼児医療費助成については、小学校就学前までに助成対象を拡大し、入院、通院とも無料としており、今年度上半期では、通院が1千6百件の増となっている。新婚家庭家賃補助制度は、定住化促進のための住宅政策として今年度からスタートし

た事業である。当初の計画では90組程度を見込んでいたが、11月末現在では16組の実績となっており、その内訳は、市内転居者が11名、市外からの転入者が21名となっている。

子育て世帯市営住宅優先入居制度については、11月末現在で1件の実績となっており、今後においては12月に1件の入居予定となっている。平成22年度においても積極的に広報紙、ホームページなどでPRをし、継続して実施していきたいと考えている。